

## 出版物のご紹介



地元を生きる  
沖縄の共同性の社会学

出版日：2020/10/6

出版社：ナカニシヤ出版

心理コミュニケーション学科の  
上原健太郎講師が第一章と第  
三章を執筆しています。

## 出版物のご紹介



ゲーム開発に役立つ  
Unity C#  
—スクリプト—  
Cookbook  
命令詳細解説と機能別スクリプト集

出版日：2020/11/6

出版社：インプレス R&D

著者：多田 憲孝  
(大阪国際大学名誉教授)



## イベント情報

### 幼稚園トドラーデー

要予約

お楽しみ会(クリスマス会)

先着40名

12/22 (火) 10:00~11:00

場所：大阪国際大和田幼稚園ホール  
予約期間：12/14 (月)~18 (金)

TEL 06-6902-5931



\*スケジュールは変更になることもあります。

2020年12月1日発行  
大阪府守口市藤田町6-21-57  
学校法人 大阪国際学園 企画・広報室  
koho@oiu.jp



—さらにいろんな情報をご紹介します。—



facebook.com/kuskusOIEI



Instagram.com/kuskusoiei



https://www.oiei.jp/kusutto/

こちらのホームページでくすくすバックナンバー等をご覧いただけます。

# くすくす

—まなび・くらし・つながり—

2020年12月号

No.91



名前『くすくす』の由来は、「くすくす談笑する様子」と  
「すくすく育つ」をかけています。

## 見て!見て!うちの〇〇ちゃん

くすくすくらぶのInstagramに、過去に紹介させていただいた〇〇ちゃんの写真をアップしています。可愛い写真が並んでいるので是非のぞいてみてください!



『くすくす』は、みなさまの「くらし」と大阪国際学園の「まなび」をつなげたい、そんな思いを込めたフリーペーパーです。

## つながりニュース

### 学芸員資格取得を目指す学生らが

じきはらぎょくせい

### 『没後15年 直原玉青 回顧展』を開催

11月1日～29日まで守口市立図書館 郷土資料展示館で、国際教養学部国際観光学科の学生らが「博物館実習」として、“直原玉青”の回顧展を開催しました。長く守口市内に住まい、旺盛な制作活動を展開した直原玉青は南画の第一人者として知られています。展覧会初日に学生らは、明治・大正・昭和・平成を描き続けた画家の豊かな世界観を解説するスライドレクチャーを行いました。また21日には本展覧会を監修した同学科 村田隆志准教授がギャラリートークを行いました。(大学・短大)



\*直原玉青(1904～2005)は、岡山県赤磐郡(現：赤磐市)に生まれ淡路島で育つ。大阪美術学校で学び、南画家の矢野橋村に師事。日本南画院会長・理事長、現代南画協会理事長、黄檗宗国清寺住職などを歴任。長く大阪の守口市内に住み、旺盛な制作活動を展開した。守口市美術協会会長を務め、市内の多くの施設に作品を寄贈。守口市名誉市民、洲本市名誉市民、南あわじ市名誉市民。

## えすでいーじーず?

持続可能でよりよい世界を達成するために掲げた17の国際目標 SDGs(エスディーゼーズ)。今回は「8 働きがいも経済成長も」「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」を取り上げます。「8 働きがいも経済成長も」に関して本学 藤澤教授が解説します。

### 8 働きがいも 経済成長も



この目標が挙げる12の具体的な達成基準の一つに、後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つとあります。これは、10年間で所得を2倍にする計算です。ただ一般的に、経済成長と環境保全は両立できないと考えられがちです。そこで、別の達成基準には、先進国主導の下、経済成長と環境悪化の分断を図るとあります。これまで、持続可能な開発と大きく環境問題に偏りがちだった日本でSDGsが普及してきた一つの大きな理由は、経済と環境の両立を提唱するこの目標8の存在にあるといわれています。

目標8のもう一つの重要な要素は、みんなが働きがいのある人間らしい仕事をする、という点です。働き方改革や地方創生を掲げる日本にとっても、大きな課題です。例えば、もし地方創生を目指す地域が、魅力的で働きがいのある仕事を提供できれば、移住を促進し、地域が活性化する大きなチャンスにもなります。新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークを推進する企業との連携も期待されます。

本学でも、経営経済学部の学生有志が、枚方信用金庫様の実施するコロナ対策ステッカー事業に参画し、魅力あるまちづくりと地域経済活性化を目標に頑張っています。

(経営経済学部経済学科教授 藤澤直広)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう



世界的に自然災害が増加しつつある現在、先進国では、何かが起きても早く復旧できる「しなやか(レジリエント)」なインフラづくりが求められています。また途上国では経済成長のペースとなる新たな産業を起こすためにも、道路や電気、水はもちろん、インターネットへのアクセスや金融サービスといった社会や経済を支えるインフラの整備が必要です。

ただ、一部の人だけが独占し、資源を大量に消費する産業を生み出しては、格差や資源枯渇などほかの問題が深刻化してしまいます。広く公平に誰でもできる産業、そして資源を効率的に使う持続可能な産業をつくり出すためには、技術革新(イノベーション)が欠かせません。イノベーションを起こすには、国や企業がすぐには結果が出ないかもしれない研究開発や、長い目で見た利益に目を向けることも重要です。

(抜粋：未来を変える目標 SDGs アイデアブック)

大阪国際学園教員紹介 : No. 0005



研究分野：経済成長論

大阪国際大学 経営経済学部経済学科

藤澤 直広 教授

趣味:読書、映画鑑賞、英語学習

米国国務省に招聘されたインターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム(IVLP)で、後発開発途上国を含む14か国の若きリーダー達と3週間の米国研修旅行を共にしたことは、忘れられない思い出となっています。